

公成建設株式会社 VOL.445

安全衛生ニュース

発行
公成建設(株)安全衛生
協力会事務局
編集
安全衛生委員会
事務局

◆冬の現場特有の危険を見極め、 確実な安全行動を徹底しよう◆ 土木部 土木グループ部長 稲垣 雅夫

2月是一年の中でも特に事故が増えやすい時期です。

気温が低く、身体が思うように動かない中で、工期が詰まり、現場が慌ただしくなることが重なります。寒さ・強風・乾燥・感染症という四つの要因が安全を脅かすため、普段以上に丁寧な確認作業と声掛けが重要となります。特に朝の時間帯は気温



が低く、注意力が落ちやすいため、作業開始前の安全ミーティングとKY活動が事故を防ぐ大きな鍵となります。

まず寒さによるリスクとして、凍結した足場や鉄板での転倒・滑落事故が考えられます。薄く張った氷や霜は見えにくく、普段と同じ感覚で歩くと足を取られやすくなります。また、冷えによる筋肉の硬直は、反応速度の低下や腰部への負担増につながり、工具の取り扱い時のミスや、重量物の持ち上げ時のぎっくり腰を引き起こす可能性があります。作業前の軽いストレッチ、手指の温め、手袋の二重使いなど、身体の準備を整えることが欠かせません。

次に、2月特有の強風による事故リスクがあります。季節風が強まるこの時期は、足場シートや仮囲いのバタつき、飛散、落下などが多く報告されています。特に大型の養生シートは、風を受けると想像以上の力が加わり、固定不良の場合は足場構造に大きな負荷を与えます。また、軽量資材や養生材の飛散は、通行人や周囲への二次災害につながる危険性があります。風が強い日は、作業前点検を通常より時間をかけて行い、固定や締め付けの再確認を確実に実施することが必要です。揚重作業を行う場合は、風速の確認と判断基準の共有を徹底し、基準値を超える風速時は作業を中止する勇気を持つことが重要です。

乾燥による火災リスクにも注意が必要です。溶接・切断作業では火花が遠くまで飛びやすく、ほんの小さな可

京都市下京区五条通西洞院西入ル小柳町518

燃物が引火の原因になります。特に冬場は静電気の発生が増えるため、電工器具の損傷やケーブルの劣化が火災の引き金になることもあります。作業前には現場の整理整頓を行い、可燃物の排除、消火器の位置確認、また使用期限の点検を確実に実施して下さい。

さらに、インフルエンザなど、感染症が流行する時期でもあります。体調が悪い状態での作業は集中力の低下を招き、事故の原因となるため、無理をせず早めに申告することが大切です。手洗い・消毒・換気の徹底に加え、十分な休養を取り、健康状態を整えて現場に臨みましょう。

年度末が近づくにつれ工程が詰まり、焦りや疲れから注意力が落ちる場面も増えます。しかし、どれほど急いでいても、安全を後回しにしてよい理由はありません。

「危険だと思ったら作業を止める」「いつもと違うと感じたら仲間に声を掛ける」・・・当たり前の行動を確実に実践し、危険に気づく力を高めていきましょう。安全は全員の協力で成り立つという意識を共有し、一人ひとりが「今日も無事故で帰る」ための行動を意識しましょう。ご安全に！

1月度合同パトロール

1月15日(木)13:00より

協力会：(株)日本サルベージサービス、(株)朝日組、(株)田中組

安衛委員：稲垣・安井・浅見・橋爪・松永
以上8名で実施しました。

『寸評』 安全衛生委員会

1月度の合同パトロールは、土木現場「宇治川向島地区護岸整備他工事」を、安全衛生協力会3名、安全衛生委員会5名の計8名により実施しました。

当日は、先週末から続いた寒波も少し和らいだ中、『重機災害の防止、転倒・転落災害の防止、水難災害の防止』を主眼に、安全パトロールを行いました。

◆宇治川向島地区護岸整備他工事

当工事は、近鉄京都線の200m下流左岸側の浸食箇所の復旧工事です。

奥本主任より概要・進捗状況説明を受け、重点目標の「重機災害の防止、転倒・転落災害の防止、水難災害の防止」を主眼に安全点検を行いました。当日の作業は、

TEL.075-365-8303 FAX.075-365-8532

盛土準備と捨石工仕上げで職員を含め8名でした。

工事場所：伏見区葎島矢倉町～向島津田町地先

工期：令和7年8月18日～8年2月27日(194日)

発注者：近畿地方整備局 淀川河川事務所

工事概要：河川土工(盛土工) 9,700m³
法覆護岸工(多自然護岸工) 222m²
根固め工(捨石工) 5,300m³
掘削工 6,800m³

出来高：55.3% (12/31現在)

安全成績：労働延時間=2,816時間

休業災害0件・不休災害0件。(1/10現在)

《良好な事項》

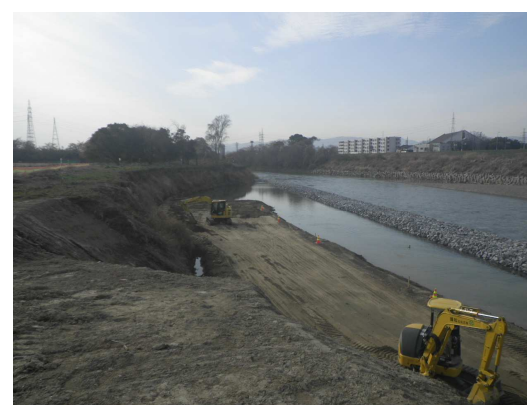
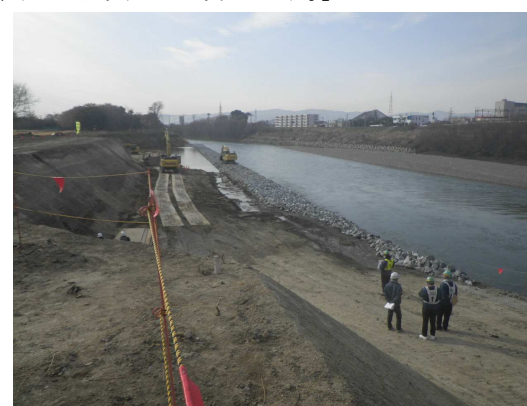
- ① 場内整理整頓、片付け
- ② 隣接地との境界分離、明示

《改善・点検を要する事項》

- ① 吊り作業時の介錯ロープ
- ② 救命胴衣、浮輪の現地配備
- ③ 詰所への救急箱の配置

■講評では、場内の整理整頓は行き届いた現場ですが、追加工事で、右岸側の掘削土の土運搬が始まるので、DT運転手への交通ルールの周知徹底と、DT走路の防塵対策をお願いしました。

■奥本主任からは、「捨石工も完了し、盛土工による土運搬では、出入口が外環状線、国道1号線と交通量の多い区域ですので、運転手・交通誘導員への教育を確実に実施し、交通事故防止に努めます。」とのコメントでした。



【宇治川向島地区護岸整備他工事】

重点実施例

『京都地区保全工事(その1)』

土木部 高速維持G 工事主任 福田 稜

本工事は

名神高速道路 京都東IC～高槻JCT 26.3Km

京滋バイパス 笠取IC～大山崎JCT・IC 17.0Km

第二京阪道路 鴨川東IC～枚方東IC 18.8Km

京都縦貫自動車道 長岡京IC～大山崎JCT・IC 2.0Km

新名神高速道路 八幡京田辺 JCT・IC～城陽 JCT・IC 35.0Km

京奈和自動車道 城陽IC～木津IC 16.4Km

総延長 84.0Km において本線内、本線外での清掃作業、雪氷対策作業、緊急作業、交通事故復旧作業、その他補修作業を行っています。

特に本線内の作業で注意を払うのが【交通災害】を起こさない、一般のお客様に迷惑のかからない様に作業を行うことであり、その為にはいろいろな決まり事があります。作業箇所の確認、規制内入口の確認、進入方法の再確認(入口手前1500mで回転灯を点灯させ、入口手前500mでハザードランプを点灯、入口手前100mでウインカーに切り替え一般の後続車に注意喚起を行う)慣れた現場従事者にも毎回繰返し同様の事を指導し、確認しあい、意識する事で無事故につながるのではないかと思います。

又、前年12月中旬から3月頃にかけて、雪氷作業(凍結防止剤散布)を現在行っています。

日々作業箇所の変化する多種多様な作業のため、作業毎に異なった形での安全対策が必要になります。いろいろなルールがある為、事前に入念な打合せを行い、自分たちの安全、お客様の安全安心を確保するために事故等が無いよう日々作業を行っています。 「ご安全に！」



【名神集中工事(透光板取替作業)】



【雪氷作業（除雪作業中）】

現場 ニュース

『久御山町全世代・全員活躍

まちづくりセンター建築工事】

建築部 建築G 所長 田畑 雅好

本工事は、久御山町発注による町役場敷地内の中央公民館の跡地に、「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』構想～夢いっぱいコンパクトタウンくみやま CCAC 構想～」の中核となる施設として、社会教育・生涯学習の機能に加え、子育て支援、多世代・多文化交流、防災拠点、文化財の保護・活用の機能を拡張した複合施設の新築工事です。

概要はS造 地上2階、敷地面積22,408.44㎡建築面積1,953.17㎡、高さ11.50mで、基本形状は直線的でモダンなデザインが特徴であり、構造体は不規則な楕円形をしています。

現在は鉄骨の建て方が完了し、屋根・外壁等仕上げ工にかかったところ です。

2月からは私が担当する外構工事に着手しますが、石材を多く使用する仕上げで、形状も非常に曲線が多く、植栽部の盛土形状もこだわりの多い非常に凝ったデザインの仕上げとなり、細部の打合せ、調整が必要になってきます。

又本工事で、庁舎利用者との動線確保等、工程管理・安全管理に一層の配慮が必要と思われます。

『無事故・無災害』で竣工するよう作業員全員と頑張っていきます。ご安全に！



【久御山町全世代・全員活躍
まちづくりセンター建築工事】

安 衛 コ ラ ム

『入社してから今までを振り返って』

建築部 工事係員 久保田 真衣

お疲れ様です。令和7年4月に入社しました、建築部の久保田です。7月から『(仮称)ドリーミー山科東野計画』の現場に勤務しております。

入社してから今までを振り返って、コミュニケーションの難しさと重要性を特に痛感しています。

現場に配属されてまず任されたのが内装工事の写真撮影でした。写真の撮り方を先輩方に教えていただきましたが、いざ写真を撮り始めると別の作業で離れている間に次の作業に進んでしまっていたり、撮りたい写真の内容を職人さんに説明しても正確に伝わっていなかったりを繰り返して、写真を撮れないことが何度もありました。最終的には職人さんに撮りたい内容を伝え、その作業を始めるタイミングで電話をかけていただくようお願いすることで撮りたい写真を撮影できるようになりました。

工程や搬入搬出等に関しても、作業の進行や作業間の取り合いの関係で予定から前後することが多く、先輩方や職人さんと話していないと把握することができず混乱してしまうことが何度もあります。

まだまだ分からないことが大半で先輩方や職人さんに助けられながら勉強する日々を送っています。これからも積極的にコミュニケーションをとりながら多くのことを勉強し、少しでも早く現場の役に立てるように頑張っていきたいと思います。ご安全に！

重点 施策

2月安全重点目標

『冬季の体調管理』

寒さが一段と厳しくなるこの季節は、暖房が効いた室内でのんびり過ごす一方で、気温の低下や乾燥によって体に負担がかかりやすい時期でもあります。風邪やインフルエンザなどの感染症だけでなく、寒さが原因で心血管疾患や転倒事故などのリスクも高まります。また日照時間の短さが心に影響を与えることもあるのです。冬季に多い健康リスクやその予防法を理解し、これから多忙になる年度末に向けて健康的に体調管理を行いましょう。

1. 風邪やインフルエンザ

インフルエンザの流行期にあたり、気温が低く乾燥した環境がウイルスの活動を活性化させます。特に人が密集する新年会や通勤時の満員電車などで感染が拡大しやすいです。対策としては、マスクの着用や手洗い、うがいを徹底することが重要です。また栄養バランスの良い食事や十分な睡眠で免疫力を高めることも効果的です。

2. 乾燥による肌荒れや呼吸器系のトラブル

冬の乾燥した空気は、肌のバリア機能を低下させ、肌荒れやかゆみを引き起こす原因となります。また、乾燥した室内環境では、鼻や喉の粘膜が乾燥しやすく、風邪や感染症のリスクが高まります。加湿器を使い室内の湿度を50～60%に保つことや、保湿クリームを活用して肌を守ることが効果的です。

3. 冬季うつ (SAD: Seasonal Affective Disorder)

日照時間が短い冬には、気分が沈みがちになる「冬季うつ」に注意が必要です。エネルギーが湧かず、無気力感や過食などが見られることもあります。この症状は太陽光を浴びることで改善されることが多いため、日中に散歩をしたり、窓辺で過ごす時間を意識的に増やしましょう。太陽光に近い効果を持つ「ライトセラピーランプ」も有効です。

4. 胃腸の不調

新年会などでアルコールや脂っこい料理を摂取する機会が増えることで、胃腸に負担がかかりやすい時期です。これにより、胃もたれや消化不良、さらには急性胃炎のリスクが高まります。アルコールは適量を守り、消化に良い食材を積極的に取り入れましょう。

5. ヒートショックの危険性

急激な温度変化により血圧が大きく変動することで、失神や心筋梗塞、脳卒中などを引き起こす健康被害のことです。暖かい部屋から寒いトイレや浴室に移動したり、冷えきった浴室から熱い湯船に入ったりすると、体が急激な温度変化にさらされ、血圧が乱高下してヒートショックを起こしやすくなります。

ご安全に！ 土木部舗装グループ

◆事務局からのお知らせ◆



■ 建設業年度末労働災害防止強調期間

期 間：3月1日～3月31日



■ 春の火災予防運動

期 間：3月1日～3月7日

スローガン：『急ぐ日も 足止め 火を止め 準備よし』



■ 安全衛生協会・委員会合同パトロールの予定

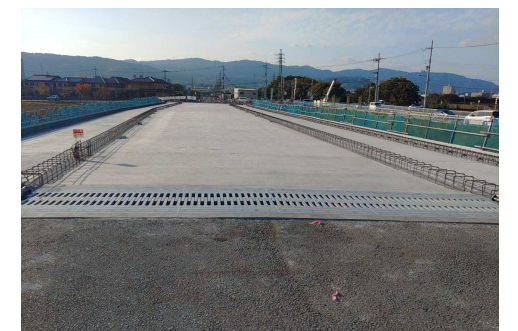
日 時：令和8年2月16日(月) 13:00～15:30

場 所：久御山町全世代・全員活躍

まちづくりセンター建築工事

協力会：木下吉工業(株)・日本電機材料(株)

■ 工事完成 ご苦労様でした。



【(総合評価) 宮前橋整備 (その14) 工事】